

シーカデュア®30

F☆☆☆☆
ノンホルムアルデヒド

エポキシ系CFRP板貼付け用接着剤

概要 シーカデュア®30は、適度な粘性を有する2成分形、無溶剤タイプの接着剤です。構造物の曲げ補強などに用いられるCFRP*板の貼付けに適した接着剤です。
*Carbon Fiber Reinforced Plastic=炭素繊維強化プラスチック

用途

- CFRP板の貼付け
- 各種素材の接着
コンクリート、モルタル、レンガ、石材、スチール、アルミニウム、木材、ポリエステル、セラミックス、エポキシ、ガラスなど
- コンクリートの補修、ひびわれや表面のシール、充填

特長

- ヘラやコテなどで簡単に施工できます。
- ダレがほとんどないので上面作業が効率よく行えます。
- 溶剤などの揮発成分を含まないため、収縮がほとんどありません。
- 圧縮強度、接着強度が優れています。
- 機械的強度が優れています。
- 耐衝撃性、耐摩耗性に優れています。

製品規格値

試験項目	試験方法	条件	規格値
比重(硬化物)	JIS K 7112	20±2℃	1.9±0.10
垂直ダレ(混合物)	JIS A 1439		ダレを認めないこと
可使時間	温度上昇法		60分以上
曲げ強さ	JIS K 7203-1995	20±2℃ 7日間	50N/mm ² 以上
圧縮降伏強さ	JIS K 7208-1995		70N/mm ² 以上
圧縮弾性係数	JIS K 7208-1995		4,000N/mm ² 以上
引張強さ	JIS K 7113		20N/mm ² 以上
引張せん断強さ	JIS K 6850		10N/mm ² 以上
衝撃強さ	JIS K 7111		1.5kJ/m ² 以上
硬度	JIS K 7215		80HDD以上



技術資料

主成分	A成分(主剤) : エポキシ樹脂 B成分(硬化剤) : 変性脂肪族ポリアミン					
外観	A成分(主剤) : 白色ペースト状 B成分(硬化剤) : 黒色ペースト状 A+B混合物 : コンクリートグレー色ペースト状					
混合比	A成分 : B成分 = 3 : 1 (重量比)					
施工温度	5℃～40℃					
可使用時間	温度上昇法 (試験材料 300g)	40℃	30℃	20℃	10℃	17分 35分 80分 170分
使用期限	未開封で製造後24ヵ月					
荷姿	6kgセット	A成分(主剤) : 4.5kg/缶 B成分(硬化剤) : 1.5kg/缶				
標準使用量	CFRP板(幅50mm) 1m施工当たりの標準使用量(コンクリート下地) 約0.5kg/m (6kgセットあたりの施工長さ : 約12m)					
性状・性能						
		条件	性能			
比重 JIS K 7112		硬化物	1.9			
圧縮強さ(N/mm ²) JIS K 7208-1995			5℃	10℃	20℃	30℃
		1日	—	45	61	78
		2日	47	59	71	79
		3日	59	67	74	81
		7日	69	74	76	83
		14日	78	78	78	83
圧縮弾性係数(N/mm ²) JIS K 7208-1995		20℃・7日	6.4×10 ³			
曲げ強さ(N/mm ²) JIS K 7203-1995		20℃・7日	62			
引張強さ(N/mm ²) JIS K 7113		20℃・7日	32			
引張せん断強さ(N/mm ²) JIS K 6850		20℃・7日 使用材料	鋼板	15		
			CFRP	18		
			杉(木材)	5.0(木材の母材破断)		
			檜(木材)	5.6(木材の母材破断)		
接着強さ(N/mm ²) 建研式引張試験		7℃・1日 20℃・8時間	3.1(コンクリート破断) 2.9(コンクリート破断)			
衝撃強さ(kJ/m ²) JIS K 7111		20℃・7日	2.9			
硬度(HDD) JIS K 7215		20℃・7日	92			
圧縮せん断接着強さ(N/mm ²) プレキャストコンクリート鉄道橋 ブロック工法設計施工の手引き (I形けた)(案)		20℃・7日 乾燥面 湿潤面	7.3(モルタル破断) 6.4(モルタル破断)			
曲げ接着強さ(N/mm ²) JIS A 6024		20℃・7日	6.4(モルタル破断)			
耐候性試験／曲げ接着強さ(N/mm ²) JIS K 6266／JIS A 6024		促進暴露時間 500時間 1500時間	6.4(モルタル破断) 6.4(モルタル破断)			

施工方法

CFRP板を貼付ける場合（CFRP板を用いた構造物の補強）

下地処理	<ul style="list-style-type: none">・施工面に汚れ、レイトランス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、ディスクサンダー、サンドブラストなどを使用し、除去して下さい。・表面が濡れている場合はウエスで拭取った後、乾燥させて下さい。・必要により下地面の不陸調整を行って下さい。
CFRP板の清掃	クリーナーをしみ込ませたウエスでCFRP板の接着面を清掃して下さい。
墨出し	CFRP板を貼付ける位置の墨出しを行って下さい。
混合	<ul style="list-style-type: none">・A成分の中にB成分を全量入れ、ハンドミキサー（max500rpm程度の低速タイプ）または専用ミキスターを使用し、空気が混入しないように均一なグレー色になるまで3分以上混合して下さい。・使用量が比較的少ない場合は、まず混合前にそれぞれの缶の中をよくかき混ぜて下さい。次に、A成分、B成分を3:1（重量比）の比率で計量した後、混合して下さい。・大量に混合する場合は、化学反応により材料の温度が上昇し、可使時間が短くなります。一度に混合する量は、可使時間内に使いきれぬ量にして下さい。
塗布	<ul style="list-style-type: none">・下地：コテ、ヘラなどで厚さ約1mm程度塗布して下さい。・CFRP板：専用塗布装置を用いて板の上に塗布して下さい。
CFRP板の貼付け	<ul style="list-style-type: none">・CFRP板を下地に貼付けた後、ローラーなどを用いてCFRP板を押付け、両端からシーカデュア®30をはみ出させて下さい。はみ出したシーカデュア®30はコテやヘラで取除いて下さい。・CFRP板や余分な箇所に付着したシーカデュア®30は、硬化する前にウエスなどで拭取って下さい。
洗浄	施工後、使用した工具は、硬化する前にラッカーシンナーで洗浄して下さい。（洗浄中、溶剤の蒸気を吸引しないように注意して下さい。）
養生	施工後24時間以上の養生が必要です。養生期間中は衝撃や振動を与えないように注意して下さい。
各種素材を接着する場合	
下地処理	<ul style="list-style-type: none">・施工面に汚れ、レイトランス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、サンドブラストなどを使用し、除去して下さい。・表面が濡れている場合はウエスで拭取った後、乾燥させて下さい。
プライマー	プライマーは必要ありません。
混合	<ul style="list-style-type: none">・A成分の中にB成分を全量入れ、ハンドミキサー（max500rpm程度の低速タイプ）または専用ミキスターを使用し、空気が混入しないように均一なグレー色になるまで3分以上混合して下さい。・使用量が比較的少ない場合は、まず混合前にそれぞれの缶の中をよくかき混ぜて下さい。次に、A成分、B成分を3:1（重量比）の比率で計量した後、混合して下さい。・大量に混合する場合は、化学反応により材料の温度が上昇し、可使時間が短くなることがあります。一度に混合する量は、可使時間内に使いきれぬ量にして下さい。
塗布	コテ、ヘラなどを用いて塗布して下さい。湿潤面に施工する際は、シーカデュア®30が下地になじむように十分に擦込んで下さい。
洗浄	施工後、使用した工具は、硬化する前にラッカーシンナーで洗浄して下さい。（洗浄中、溶剤の蒸気を吸引しないように注意して下さい。）
養生	施工後24時間以上の養生が必要です。養生期間中は衝撃や振動を与えないように注意して下さい。
重要事項	<ul style="list-style-type: none">・高温時は、可使時間が短くなります。夏期に施工する場合は、材料温度が上昇しないように、室内の冷暗所に置くなどの処置を行って下さい。40℃以上で施工する時は、当社にご相談下さい。・低温時は、材料の粘度が上昇し作業性が低下するとともに、硬化が遅れます。原則として5℃以上の環境で使用して下さい。

注意

取扱い

A成分：刺激性の成分としてエポキシ樹脂を含み、長時間あるいは繰返しの接触により皮膚刺激を起こすことがあります。また、目を刺激することがあります。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。皮膚との接触を避け、適当な換気条件の下で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。

B成分：刺激性の成分としてアミンを含んでいます。目あるいは皮膚を刺激します。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。適当な換気条件の下で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。B成分の付着した衣類は着替えて下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。

詳細は製品安全データシートを参照して下さい。

救急法

皮膚に付着した場合はすぐに拭取り、石鹸を使用し、水で十分に洗って下さい。痛みや外観に変化がある場合には、速やかに医師の診断を受けて下さい。目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、必要に応じて医師の処置を受けて下さい。蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

保管

A成分：火気、湿気、水を避け、室内の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。

B成分：A成分と同様に保管して下さい。保管中に多少の分離を生じる事がありますが、その場合には使用前によく攪拌して使用して下さい。

廃棄

使用後の材料・容器は、A成分とB成分を混合し硬化を確認した後、法規に従って廃棄して下さい。

消防法による
危険物分類

該当なし

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、接着面および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものではありません。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクト・データ・シートの最新版に留意してください。プロダクト・データ・シートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。



日本シーカ株式会社
 化成品営業開発本部
 〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬1-1
 TEL 0463-23-1301 FAX 0463-21-1316
<http://www.sika-japan.co.jp/>



認証取得：平塚・小野・新南陽